

**機械器具 9 医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般医療機器・特定保守管理医療機器（設置） 汎用 X 線診断装置用電動式患者台 40655000
アリウスシリーズ ICU ベッド（KA-H7660）**

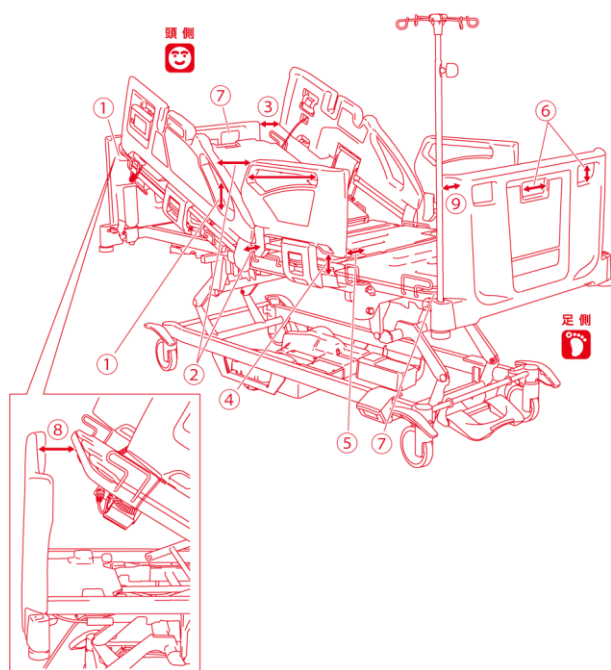
【警告】

<使用方法>

●すき間に注意してください。

[ベッドやサイドレールなどには下記に記載のように、すき間があります。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、窒息や骨折などのおそれがあります。]

- ① サイドレールなどの内部のすき間
- ② サイドレール（頭側）とサイドレール（足側）の間のすき間
- ③ サイドレールなどとボードのすき間
- ④ サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
- ⑤ サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
- ⑥ ボード内部のすき間
- ⑦ ボードとボトム・マットレスのすき間
- ⑧ あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間
- ⑨ IV ポール・離床グリップ・フットスペーサー・けん引装置とボード・サイドレール・ボトム・マットレスなどのすき間



【禁忌・禁止】

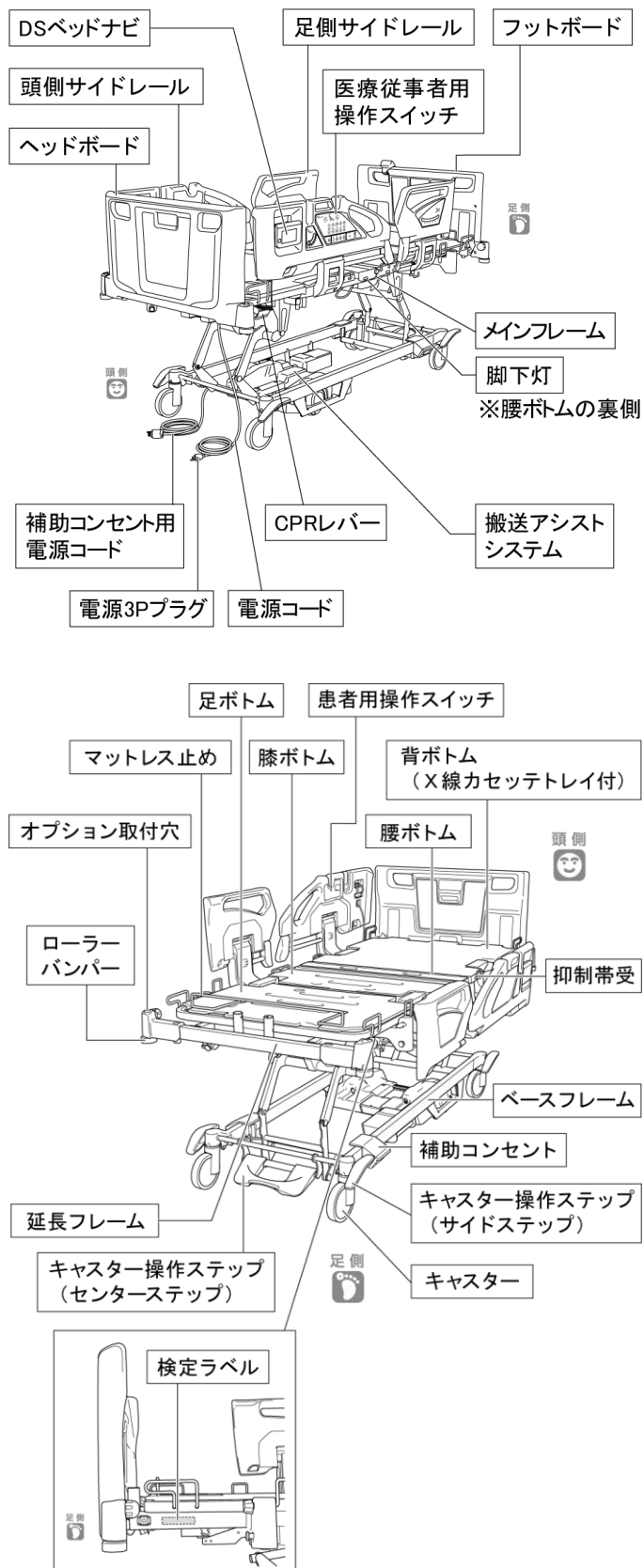
<適用対象（患者）>

●小児（12 歳以下）には使用しないでください。

[本製品は小児（12 歳以下）向けには設計されていません。サイドレールを使用しても、すき間から転落してけがをするおそれがあります。]

【形状・構造及び原理等】

■各部の名称



■原材料

ボード（ヘッド・フッド）	ポリエチレン
サイドレール（頭側・足側）	ポリエチレン

■動作原理

- 電動リニアアクチュエーターの伸縮によるリンク機構により、寝台の昇降・傾斜及び背角度、膝角度を制御する電動式患者台である。背ボトムにX線カセットトレイが付いており、患者の体位の位置決め、保持をしながら、X線撮影が可能である。

■電気的定格

1. ベッド本体

定格電源電圧・周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：175W 以下、膝あげ：80W 以下、高さ調節：275W 以下
電撃に対する保護の形式による分類	クラスⅠ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	B形装着部
水の有害な侵入に対する保護の程度	IPX4

2. 補助コンセント

定格電圧	AC125V
定格電流	15A
最大電力	1500W

【使用目的又は効果】

- 汎用 X 線装置を必要とする一般／平面画像の撮影や特別な診断撮影の場合に患者の体位を保持し、X線撮影を行うための台

【使用方法等】

■設置方法

- 取扱説明書に記載されている方法で設置してください。
- 組立方法および記載されていない使用方法などについては、取扱説明書をご参照の上行ってください。

1. ベッドの操作

- 1.1. サイドレールの調整（上下）は、医療従事者が手動で行います。
- 1.2. キャスターの固定（ロック）、解除（フリー）は次によります。使用中はキャスターを固定します。
 - (1) 固定（ロック）：キャスター操作ステップ（センターステップ）の左右の端、またはキャスター操作ステップ（サイドステップ）の橙色箇所を踏みこむと4輪すべての首振りと回転がロックされます。
 - (2) 解除（フリー）：キャスター操作ステップ（センターステップ）の中央をつま先であげるか、キャスター操作ステップ（サイドステップ）の緑色箇所を踏みこむとロックが解除され、4輪すべての首振りと回転が可能になります。
- 1.3. 電源の接続
 - (1) ベッドの電源 3P プラグをコンセントに差し込みます。なお、使用する部屋のコンセントが一般の 2P コンセントの場合は、3P アダプター（別売）を使用します。
 - (2) 補助コンセントは、ベッド周辺で使用する電気機器のコンセントとして使用します。

2. ベッド使用中の操作

- 2.1. 医療従事者は、医療従事者用操作スイッチを操作し、ベッドのポジション（体位）を調整します。なお、背・膝の角度調整は、患者用操作スイッチを用いて患者自身が調整することも可能です。
- 2.2. 医療従事者は、DS ベッドナビにて、オプションの機能である離床 CATCH・体重計・眠り SCAN（別売）・エアマットレス（別売）の操作を行います。

3. ベッドの移動

- 3.1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3.2. 患者搬送時にはサイドレールが上がった状態で固定されていることを確認した上で、キャスターのロックを解除してベッドを移動します。なお、搬送アシストシステムを使用してベッドを移動する際は、搬送アシストシステムのバッテリー充電残量が十分に残っていることを確認して使用します。
- 3.3. 移動が完了したら、キャスターを固定します。

4. X線カセット撮影

- 4.1. X線撮影位置やベッドのポジションを適切な位置に調整します。
- 4.2. X線カセットをカセットトレイにセットします。
- 4.3. X線が透過する位置を確認してから、X線撮影装置を使用します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 次の①～③の操作を行う際は、下記項目に注意して周囲に人やものがないことを確認して行ってください。
 - ①ベッドのポジション操作
 - ②サイドレールの操作
 - ③延長フレームの操作
- 注意点：
 - 可動部のすき間によるはさまれ
 - 床とサイドレールのすき間によるはさまれ
 - 身体の一部がすき間に入った状態での操作
 - ボードやオプション取付穴に取付けている機器などの落下
 - 患者につながっているライン
 - 抑制帯を取付けた状態での操作
- ベッドから転落して、けがをするおそれがあるため、処置などを行うとき以外は、ボードを取付けた状態で使用してください。また、ボードを取外す際は、患者の状態に注意してください。
- ヘッドボード・フットボードはボードストッパーのロックが掛かっていることを確認してください。
- マットレス止めを持って足ボトムを持ちあげないでください。
- 延長フレーム使用時に離床グリップ（別売）を使用する際は、フットスパーサー（別売）を使用してください。
- 延長マットレス（別売）の端に手や足、膝などをつかないようにしてください。
- 患者などがベッドの内側から操作すると、サイドレールが急にさがるなどしてベッドから転落し、けがをするおそれがあるため、サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護する方が行ってください。
- サイドレールの可動部に指などを入れないでください。
- 転落・転倒して、けがをするおそれがあるため、ベッドが傾斜した状態あるいは、ベッドの膝があがっている状態で、ベッドからの乗り降りはしないでください。
- ベッド搬送は2人以上で行ってください。
- ベッドを移動させるとき以外は、キャスターにロックを掛けてください。
- ベッド動作により、カセットトレイやカセットが飛び出してけがをしたり、カセットが破損・変形したりするおそれがあるため、カセットをセットするとき以外は、カセットトレイを一番奥まで押し込み、ロックレバーをロックした状態で使用してください。
- モーターが破損するおそれがあるため、CPR レバー操作中は、医療従事者用操作スイッチなどの電動操作を行わないでください。
- サイドレールのみを持ってベッドを動かさないでください。サイドレールに大きな力がかかり、破損・変形するおそれがあります。
- スロープの勾配が 1/12 以下のところで使用してください。
- 搬送するゆかの状態が変化する場所（段差、スロープ、材質など）ではタイヤの跡がゆかに残るおそれがあるため注意してください。
- 患者を搬送するとき含め、患者がベッドにいない際には、サイドレールをあげて固定してください。
- 電子治療器（マイクロ波治療器、超音波治療器など）を使用するときは電源プラグを抜いてください。
- 搬送アシストシステムの電源を ON にしているときに本体カバーを開けないでください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなるため、サイドレールをあげた状態でもベッドからの転落に十分注意してください。
- オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。
- タッチパネルの破損、感電や誤動作の原因となるため、DS ベッドナビ・ベッドナビ（別売）のタッチパネルに強い衝撃を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください。
- ベッド本体の安全荷重（利用者及びマットレスを含むオプション品の合計荷重）は 255kg（2500N）です。ベッドに安全荷重以上の負荷をかけないでください。
- 壁側のコンセントが発熱して火災が発生するおそれがあるため、壁側のコンセント（2口以上）の同じパネル内にベッド用の電源プラグと補助コンセント用の電源プラグを同時に接続しないでください。
- 容量を超えて補助コンセントを使用すると、設備のブレーカーが作動したり、補助コンセント用電源コードや電源プラグが発熱して火災が発生したりするおそれがあるため、補助コンセントの左右に合計 1500W を超える電気機器を接続しないでください。
- エアマットレスまたは眠り SCAN の部品が映り込み、X 線撮影結果に影響を及ぼして再撮影になるおそれがあるため、エアマットレスまたは眠り SCAN を設置した状態で、カセットトレイを使用している X 線撮影はしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1) 保管方法

<保管時のベッドの状態>

- 離床 CATCH を通知オフにしてください。
- 背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを挟んだり踏んだりしない場所に束ねてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- マットレスの上には何も載せないでください。
- ベッドは壁に立てかけたりせずに、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 搬送アシストシステムとバッテリーをつなぐケーブルを外してください。

<保管する場所>

- 高温多湿および直射日光を避け、水に濡れない場所に保管してください。

2) 耐用期間

- 8年[自己認証（当社データ）による]
ただし、指定の保守・点検と消耗部品（キャストなど）の交換を行った場合に限り。

【保守・点検に係る事項】

1) 点検

<使用者による保守点検事項>

安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（取扱説明書参照）までお問い合わせください。

<業者による保守点検事項>

点検頻度（時期）：年1回

摺動部、締結部、キャストなどの点検

※業者による保守点検の詳細は、弊社または販売店までお問い合わせください。

※当該製品の修理を行うには、医薬品医療機器等法に基づく修理業の許可が必要となります。

2) お手入れ

■汚れを落とす場合

- 下記①～③の手順で行ってください。

①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。

②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。

③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒する場合

- 必ず下記の消毒剤を、指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

76.9～81.4% 消毒用エタノール

～0.2% 塩化ベンザルコニウム（オスパンなど）

～0.2% 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）

～0.05% グルコン酸クロロヘキシジン（ヒピテンなど）

～1.0% 次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。

※オゾン殺菌器、オートクレープ滅菌器などには対応できません。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1) 製造販売業者

パラマウントベッド株式会社

TEL (0475) 81-3000（千葉工場）

2) 販売業者

パラマウントベッド株式会社

本 社

〒136-8670 東京都江東区東砂2-1-4-5 東京支店

TEL (03)3648-1171（代）

札幌支店

〒060-0062 札幌市中央区南2条西1-3-3 11

TEL (011)271-1181（代）

仙台支店

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-3-3

TEL (022) 239-5211（代）

さいたま支店

〒336-0967 さいたま市緑区美園3-2-3-1

TEL (048)878-0100（代）

横浜支店

〒194-0004 東京都町田市鶴間5-3-3 3

TEL (042)795-8800（代）

名古屋支店

〒461-0001 名古屋市東区泉1-2-0-1 7

TEL (052)963-0600（代）

大阪支店

〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-3-3 3

TEL (06)6443-8791（代）

高松営業所

〒761-8031 香川県高松市郷東町2-2-3-1

TEL (087)881-8900（代）

広島支店

〒733-0011 広島市西区横川町3-8-5

TEL (082)293-1311（代）

福岡支店

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-4-2 0

TEL (092)461-1131（代）